



こうじまさかず

小路正和 県議会レポート

“ふるさとちば”
のための政策推進を



発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

6月議会一般質問に登壇



新型コロナウイルス対策でマスクをして登壇した小路県議

外房地域の振興を自らの政策課題に掲げる
いすみ市選出の小路正和（こうじ・まさかず）
県議は、新型コロナウイルス感染症対策が中
心議題となった6月定例県議会の一般質問に
登壇しました。

小路県議は、外出自粛要請などで観光客が
激減した外房、南房総地域の観光振興を取り
上げ、鉄道を活用した観光客誘致を強く要望
しました。この中で県は、来春のダイヤ改正
に伴い、車内快適性の向上や、バリアフリー
に対応した新型車両が外房線に導入される予
定であることを明らかにしました。そのほか、
農作物の種子条制定などを求める小路県議
の主な質疑を特集しました。
(質疑、および答弁の内容は6月19日時点のものです)

鉄道活用の 観光誘致を訴え!

来春外房線に 新型車両導入

小路議員

九十九里、外房、南房総では、観光は
とても重要ですが、昨年のたび重なる台
風被害から復興を、と思ったらコロナ禍
で、不要不急の外出自粛が行われた結果、
ほとんどの観光施設が休止することにな
りました。そこで伺います。鉄道を活用
した観光誘致について、県はどのように
取り組んでいくのか。

森田知事

県では、鉄道を利用した観光需要の
掘り起こしのため、平成28年度から県
内を自由に周遊できるフリー切符の企

画を、市町村、民間事業者と連携して
実施するほか、鉄道を使った旅行商品
の開発について旅行会社に働きかけを
行ってきました。

今後も、国の観光キャンペーンに合わ
せて、県の観光情報誌の特集記事を組み
、鉄道旅行の魅力を掲載するなど、鉄道を
活用した観光客誘致に取り組んでまい
ります。

小路議員

南房総での鉄道を活用した観光誘致
に、どのように取り組むのか。

商工労働部長

これまで企画したフリー切符では、南
房総地域での利用が最も多く、鉄道を活
用した誘客が有効であると考えられるこ
とから、今後も、海や花、新鮮な魚介類

など、豊富な観光資源を生かし、鉄道を
活用した観光の魅力を積極的にPRしてま
いります。

《要望》

壊滅的なダメージを受けている観
光業者に寄り添い、危機感をもつ
て観光施策を進めていただきたい。
観光立県ちばですから、知事の英断
をもって、国の「GOTO キャンペー
ン」に先立って割引等の観光施策に
取り組んでいただきたい。

房総周遊の鉄道、道路、自転車道
の導線を、ぜひキャンペーンに取り
込んで、誘客いただきたい。

新ダイヤの編成へ

小路議員

新型車両投入後における外房線の運行
本数維持及び乗り継ぎ改善等について、
どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長

JRでは、令和3年春ごろ、車内快適性
の向上や、バリアフリー、ワンマン運転に
対応した新型車両を外房線に投入する予定

長生グリーンラインの状況

小路議員

長生グリーンラインの事業中区間
の進捗状況はどうか。

県土整備部長

長生グリーンラインは、圏央道の
整備効果を外房地域に広く波及させ
る上で大変重要な道路であり、現在、
茂原長南インターチェンジから広域
農道までの6・5キロ区間で整備を
進めています。

さる5月28日に茂原長南インター
チェンジから長南町道利根里線まで
の1・5キロを供用したところです。
残る長南町道から広域農道までの
5キロは、用地取得率が約7割となっ

であり、これに合わせて運行区間となる上
総一ノ宮駅以南において、新しいダイヤが
編成されることが予想されます。

県としても、外房線の利便性の維持・
向上は大変重要と考えており、今後、こ
うした状況も踏まえながら、沿線市町村
との意見調整を図りつつ、運行本数の維
持や乗り継ぎの改善について、JRに対
し、しっかりと働きかけを行ってまい
ります。

《要望》

新型車両投入後の外房線の運行本
数の維持はもちろん、特急も今のま
までということを含め、また、乗り
継ぎ改善等について、県から前向き
な答弁をいただきました。

外房線の利便性の維持・向上に
とって、新型車両投入に合わせて実
施される次回のダイヤ改正は、ある
意味、ターニングポイントという非
常に大切なタイミングになると考え
ていますので、県としても、JRに
対する働きかけをしっかりと行って
いただくよう要望します。

ており、現在、用地取得を進めると
ともに、用地が確保できている県道
茂原大多喜線までの2・5キロにつ
いて、令和5年度の供用を目指し、
道路改良や橋梁等の工事を実施して
いるところです。

《要望》

長生グリーンラインは、いす
み市のみならず外房地域にとつ
て非常に大切なアクセス道路の
ひとつです。

まずは1日も早く広域農道ま
での工事に着手し完了していた
だき、アクセスの向上につなげ
ていただきますように強く要望
いたします。

いすみ市と県政に関する
ご意見をお寄せください

小路正和 事務所

〒298-0004
千葉県いすみ市大原 8654

TEL 0470-62-5802 / FAX 0470-62-5902

農作物の種子条例制定を要望

条例化への期待意見

小路議員

主要農産物の種子条例の制定について、県では条例化を検討する上で、県内農業団体等と意見交換を行ったと聞いています。そこで伺います。農業団体との意見交換では、どのような意見があったのか。

農林水産部長

県では令和2年3月に種子条例の必要性について、米の生産者団体や流通関係団体などから幅広く意見を伺いました。

その中では、

○県が将来にわたって、種子生産事業に取り組みむことを明確にし、農家が安心して生産に取り組みめるようにすること



再質問に臨む小路県議

○生産者の高齢化が進む中、法的担保のない種子生産では、将来への不安から、担い手の確保が困難になること
など、条例化を期待する意見を多くいただいたところです。

小路議員

主要農産物の種子条例制定に向けた作業状況はどうか。

農林水産部長

条例制定を求める意見を踏まえ、これまでの種子対策要綱に基づいて行ってきた種子供給について、条例に基づき、県が責任を持つて継続していくことが適当であると判断したところです。

《要望》

わが党にも、農家の方々から将来にわたって優良種子の配布を求める声や、種子生産事業が継続されることで後継者を確保し、採種業務を安定的に実施したいという多くの声が寄せられています。
早急に現在の要綱を条例化していただくことを要望し、執行部においては、農家の声に答えるためにも、ぜひ9月議会での条例制定を目指してもらいたい。



圃場整備は新規採択も

基盤整備の見通し

小路議員

いすみ市内の農業生産基盤の整備について、現在の実施状況と今後の取り組みはどうか。

農林水産部長

いすみ市内では、県営圃場整備事業夷隅川1期地区を実施しているほか、新規の圃場整備地区として、団体営事業・岩船地区が先月採択され、県営事業・桑田地区についても現在、採択手続きを進めているところです。

このうち、実施中の夷隅川1期地区においては、大区画化された圃場で、担い手への農地の集積・集約が進むとともに、畑作物の作付け拡大が図られています。

また、岩船地区及び桑田地区でも、農地の集積集約を進め、生産性が向上するよう、円滑な事業推進を図ってまいります。

《要望》

引き続き、地元の農家や市と連携して早期に事業効果が発現されるよう、計画的な推進を要望します。

イノシシの処理加工

小路議員

野生鳥獣の被害防止対策について、県内の処理加工施設におけるイノシシの処理頭数の推移はどうか。

農林水産部長

県ではイノシシの処理頭数を増やすため、国の補助事業も活用し、稼働施設数は平成27年度の4カ所から、令和元年度までに7カ所に増えています。

また、平成29年度には、捕獲したイノシシを処理加工施設に搬入する際に義務付けしていた、捕獲場所での市町村職員の立ち合いを廃止し、手続きの簡略化を図ったところです。

《要望》

捕獲頭数に対して、処理加工頭数は現状では5%未満です。せめて全体の1割程度は活用されるようにしたい。処理加工施設そのものの充実はもちろん、運搬に必要な車両の整備に対する支援、あるいは捕獲した獲物をさばく人材の育成についても要望します。

新型コロナウイルス感染症対策

高級魚の需要喚起を

小路議員

新型コロナウイルス感染症対策について、価格が低下している高級魚の需要喚起に対して、県はどのように対応しているのか。

森田知事

感染拡大による外出自粛の影響などで、全国的に高級魚を中心に需要の減少と価格の下落が生じており、本県でもイセエビやマダイなどの価格が昨年度比3割から6割落ち込んでいます。

このため県では、量販店に対して県産水産物の取り扱い

《要望》

魚の販売促進を進めていく上で、漁協直営食堂の「いさばや」が、食べる場のみではなく、地域の販売促進のターミナルとなるよう取り組んでいくことが大切だと考えます。

中小企業へ再建支援

小路議員

中小企業再建支援金について、県は商工団体とどのように連携しているのか。

商工労働部長

中小企業にとって身近な支援機関であり、地域の中小企業の実情に精通している商工会や商工会議所に、支援金の申請手続

休業要請への対応

小路議員

県では、休業要請に応じた店舗に対し、どのように対応したのか。

健康福祉部長

県では、休業要請に応じた店舗に対し、必要に応じて電話等により、改めて状況を確認し、営業が継続されている

いすみ医療センターについての要望

小路議員

いすみ医療センターをはじめとする新型コロナウイルス

感染症対応病院にさらなる支援をするよう要望します。

た場合には、文書の送付や現地訪問などにより、要請の趣旨や必要性を丁寧に説明して理解が得られるよう努めてきたところです。

その上で、なお応じていただけない場合には、さらなる休業の要請や指示等を行ったところです。